

料金後納

ゆうメール

(株)育脳寺子屋MAC 本部教室 MAC真成塾
〒616-8156 京都市右京区太秦西野町20
電話:(075)871-0374 FAX:(075)882-3777

2020年
10月号

Mathematics Abacus Chinese character

MAC NEWS

お子さんが大人になった時、社会で活躍できるヒントがいっぱい！！

お寺のピンチを救ったのは元銀行マン！

～「常識」を打ち破り実行した、大改革の数々とは！？～

昔、寺院は地元コミュニティの中心でした。寺院と民衆は結びつきが強く、檀家による貢物によって寺院の経営が成り立っていました。



ところが戦後、高度成長とともに核家族化し、さらに個人化が進みました。そして今や檀家制度はほぼ崩壊し、多くの寺院は存続問題に直面しているのです。

2014年に国の重要文化財に指定された、400年の歴史を持つ築地本願寺も例外ではありません。

浄土真宗本願寺派のお寺は1万300ほどあるそうですが、約半分のお寺は年間の収入が300万円未満。住職が他でお金を稼いで寺を維持しているのだそうです。(以前、住職が寺院の維持費のために電力小売会社を設立したというニュースもありましたね！)

そんな中、築地本願寺を救うべく立ち上がったのが元銀行マンの安永雄玄さんです。

その改革の内容を見ると、安永さんの行動や考え方にはこれからの時代を生きるのに必要なヒントがたくさん散りばめられていました。

なぜバリバリのビジネスマンが僧侶に！？

安永さんは大学卒業後、三和銀行（現三菱 UFJ 銀行）に就職します。その後、イギリス赴任となり、これを機にケンブリッジ大学大学院の博士課程を修了（経営学専攻）。

20 年近く銀行員として勤務した後、外資系のヘッドハンティング会社ラッセルレイノルズ社へ転身します。その後島本パートナーズという経営コンサルティングの会社に入社しますが、当時のオーナーが亡くなり、安永さんが経営を引き継ぐこととなりました。

しかし 47 歳の時、ふと目にした新聞広告が彼の運命を大きく変えます。
それはお坊さんを養成する通信教育の広告でした。

「面白そうだな・・・」と思い、西本願寺が運営する仏教学校の通信教育で僧籍を取得し、同時に通信教育のスクーリングで浄土真宗について学べる学校へ入学しました。

そして卒業後、50 歳にして仏道の修行へ。

大学の先輩の実家のお寺で副住職となり、平日はビジネスマン、週末にお寺の法事を務めるなど二足のわらじで活躍していたところ、「ビジネスマン僧侶がいる」ということで、浄土真宗本願寺派の有職者会議に呼ばれるようになりました。

「言葉が通じない・・・」元銀行マンの僧侶の挑戦

当時の築地本願寺は、門信徒の数も増えず、収入は右肩下がり。ビジネスマン僧侶として有識者会議に出席した安永さんは、現状を変えるために今後の寺の方向性について様々な話をしました。

「寺も一般企業も同じです。現状を分析してマーケティングをしていかないと潰れてしまいます。寺は変わらなくてはダメなんです。

これからの寺がすべきことはドラッカーが言っているビジネスそのものです。『顧客

創造』と『イノベーション』がビジネスの本質。お寺に帰属意識を持っていない人々を対象に、寺にご縁を持っていただいて、門信徒になっていただくことが必要です。」

しかし古参の僧侶たちは「寺は金儲けをする場所ではない」「教えを極めればお金は後から付いてくる」と反発しました。当時の状況を思い出し、安永さんはこう言います。

「極めてアウェーでした。経営の言葉が全く通じない。長期の投融資計画も長期の修繕計画もなければ、長期的にどうありたいか・・・が全く無いのです。」

しかし安永さんは自らプロジェクトチームを結成し、築地本願寺の改革を唱え続けます。そんな安永さんに注目したのが、事務方トップの石上智庸総長でした。

「我々はどうしても伝統とか基本に縛られる。だから世の中や一般人とのギャップができてしまうんです。その点で安永さんは世の中のこと、受け手目線の大事さを身につけていらっしまった。（石上智庸総長）」

石上総長の勧めもあり、安永さんは2015年に築地本願寺代表役員宗務長（会社でいうと社長の役職です）に就任。そしてそこから築地本願寺は大変身を遂げるのです。

築地本願寺を「人が集まる寺院」へ

安永さんがまず着手したのは、従来の慣例に習おうとする僧侶たちに**目的意識**を持たせることでした。また、トップダウンではなく、僧侶たちにどんどん意見を出させるようにしたのです。（今では会議もペーパーレス。すべての僧侶にノートパソコンを支給したそうです）

そして築地本願寺を「人が集まる寺院」にするために、安永さんは数々の大改革を実行していきます。

①「都心に30万でお墓」がキャッチフレーズの合同墓

→合同墓とは宗教・宗派不問、家族単位ではなく血縁のない人の遺骨を一緒に納めるお墓のことで、お墓が遠い、墓守をしてくれる人がいない人など、納骨後に不安を感じ

る人のために作られました。管理費などは不要で 30 万円からと格安。開設以来予約が殺到し、すでに 7000 人を超えているそうです。

②パイプオルガンで無料コンサート

→ドイツ製の大小 2000 本のパイプを持つパイプオルガンによるランチタイムコンサートを毎月開催。入場料は無料で誰でも鑑賞できます。

③複数のショップが入る「インフォメーションセンター」を建設

→最も人気なのは、毎朝長い行列ができる「築地本願寺カフェ T s u m u g i」。精進料理をイメージした料理やスイーツなど豊富なメニューを用意しています。

オフィシャルショップではインテリアとしても評判な仏具や、煤（すす）が出にくい色鮮やかなろうそく、食器や雑貨などお寺とは思えない品揃えをしています。

ブックセンターでは仏教の入門書はもちろん、子供向けの絵本からアート作品まで約 3000 冊を販売しているそうです。

④法要のネット生配信

→寺に足を運べない人向けに始めたネットで法要を生配信する試みも好調で、特に今はコロナ対策にもつながり喜ばれているそうです。

⑤寺の外でもイノベーション！多くのイベントを企画

→東京・銀座の「築地本願寺 GINZA SALON」では太極拳を実施。ここは築地本願寺が 3 年前に作ったいわばカルチャーセンターです。始めて 3 年弱で登録メンバーが 6000 人に到達したのだとか。

「心と体を豊かに」をテーマに暮らしに役立つ様々な講座が開かれていて、費用は無料のものから高くても 1000 円まで。ここではお坊さんが様々な悩みや相談を無料で聞いてくれる、まさに現代版・駆け込み寺として機能しています。

・ ・ そんな数々の改革が実を結び、築地本願寺の来訪者数は約 250 万人（見込み）となり、昨年の倍の数なのださうす！しかし、安永さんは新たなサービスを検討中。彼の挑戦はまだまだ続くのです。

これから続く「変化の時代」に重要な考え方とは？

今回紹介した安永さんの大改革から見習うべきこと、それは「**目的意識**」と「**昔ながらの考えを改める**」という2点だと思います。

明治以降、日本は人口が増え続け 140年あまりで人口は約3倍に膨れ上がりました。

人口増加の背景があったので、企業は少しでも優秀な人材を確保しようと、学歴のある人材を囲い込んでいきました。そしてある程度の学歴があれば、ある程度の会社に入社でき、入社してしまえば年功序列・終身雇用で退職金まで計算できた時代でした。

つまり、人口が増加し続けていた当時は『勉強を頑張る』＝『将来の安定』という分かりやすい勉強する目的が存在したのです。

しかし今や大企業でも大規模なリストラを行いますし、安定の代名詞であった公務員さえも4割が非正規雇用の時代です。

時代の変化とともに、勉強をする目的は『将来の安定を手に入れること』から、『社会に出てから活躍できる力を手に入れる（すなわち、自分で学び続ける力を身につけ、社会に出てからも成長し続けられる人になる）こと』に変わりました。

その手段が学校の勉強であり、良い点数を取ることだけが目的ではなくなりました。

そのことを踏まえ、これからはまずは大人が「テストで良い点が取れていたら良い」「よい学校に入学できれば良い」「とりあえず大学は出ておいてくれたら良い」という昔ながらの考えを改める必要があります。

そして、次に子供たち自身がただやみくもに目の前の問題をこなすのではなく「なぜ学ぶのか？何のために学ぶのか？」という「目的意識」を持たないといけないのです。

その「なぜ学ぶのか？何のために学ぶのか？」の部分子供たち自身が理解し、勉強に取り組めるように手助けをするのが、M A Cの役目だと思っています。

べんきょう もくてき なん

勉強する「目的」って何だろう？

あなたは勉強する「目的」と聞くと、どんなことを思い浮かべますか。
 テストで良い点数を取るため？良い大学に行くため？いえいえ、実は・・・。

べんきょう もくてき じぶん まな つづ ちから つ

勉強の目的は「自分で学び続ける力」を付けること

みなさんのお父さん・お母さんの学生時代は人口が増え続けていた時代
 だったので、会社は少しでも優秀な学生を囲い込もうと、学歴のある人を
 優先的にたくさん採用していました。

なのでこの時代は「勉強を頑張る＝安定した将来を手に入れる」という、
 分かりやすい勉強する目的があったのです。

しかしみなさんが生きるこれからの時代は、学歴があっても安定した
 将来を手に入れられる保証はありません。

これからの変化に富んだ、誰も想像できない時代に必要な力は「**自分の
 力で学び続ける力**」を持った人、すなわち**社会に出ても成長し続けら
 れる人**なのです。勉強の目的は、その力を身に付けることなのです。

そして日々の勉強を通して、新しいことを生み出す力、今までの当たり
 前を変えていける力をぜひ身につけてほしいと思います。



そうぞう へんかく しし

「創造と変革の志士たれ」

(意味：新しいものを作り出したり、今までのものを
 変えたりすることに一生懸命になりましょう)

やすながゆうげん つきじほんがんじ びんち すく もとぎんこうまんそうりよ
 安永 雄玄 ～築地本願寺のピンチを救った、元銀行マン僧侶～

じぶん へや めだ は よ かえ
 自分の部屋の目立つところに貼って、読み返すようにしましょう。